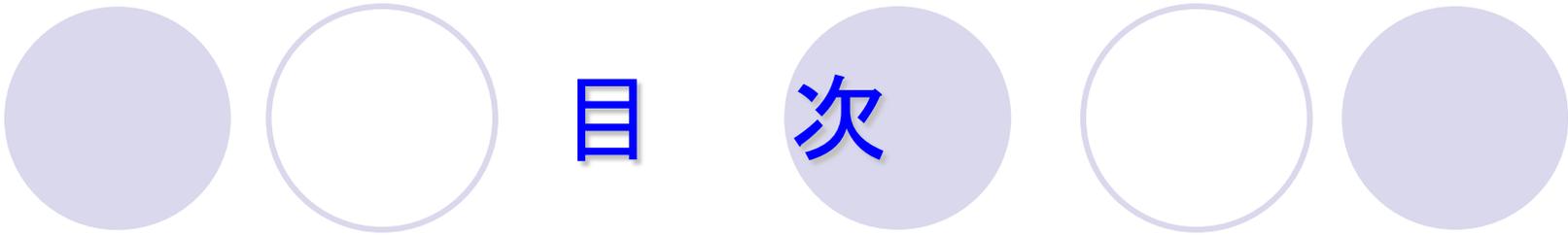


大学図書館の現状と課題

名古屋大学附属図書館
加藤 信哉

skato@nul.nagoya-u.ac.jp



目次

- 大学図書館とは
- 設置の根拠
- 統計から見る日本の大学図書館(2010年)
- 大学を巡る環境の変化
- 図書館を巡る環境の変化
- 大学図書館の新しい動き
- 資料: 大学図書館の推移(2006~2010)
- 参考文献

大学図書館とは

一般に四年制大学，短期大学，高等専門学校に設置される図書館の総称

社会貢献

- 大学における教育と研究を支援する目的で設置
第一義的には所属大学の教職員，学生を主なサービス対象

一般市民

- 相互利用制度により他大学の構成員に利用させるほか，公開制度により一般の利用を認めている

出典：図書館情報学用語辞典 第3版 2007 p.142-143

設置の根拠(1)

- **大学設置基準**（昭和31年10月22日
文部省令第28号）

（校舎等施設）

第三十六条 大学は、その組織及び規模に応じ、少なくとも次に掲げる施設を備えた校舎を有するものとする。ただし、特別の事情があるときはこの限りではない。

三 **図書館**，医務室，学生自習室，学生控室

設置の根拠(2)

(図書等の資料及び図書館)

第三十八条 大学は、学部の種類、規模等に応じ、図書、学術雑誌、視聴覚資料その他の教育研究上必要な資料を、図書館を中心に系統的に備えるものとする。

2 図書館は、前項の資料の収集、整理及び提供を行うほか、情報の処理及び提供のシステムを整備して学術情報の提供に努めるとともに、前項の資料の提供に関し、他の大学図書館等との協力を努めるものとする。

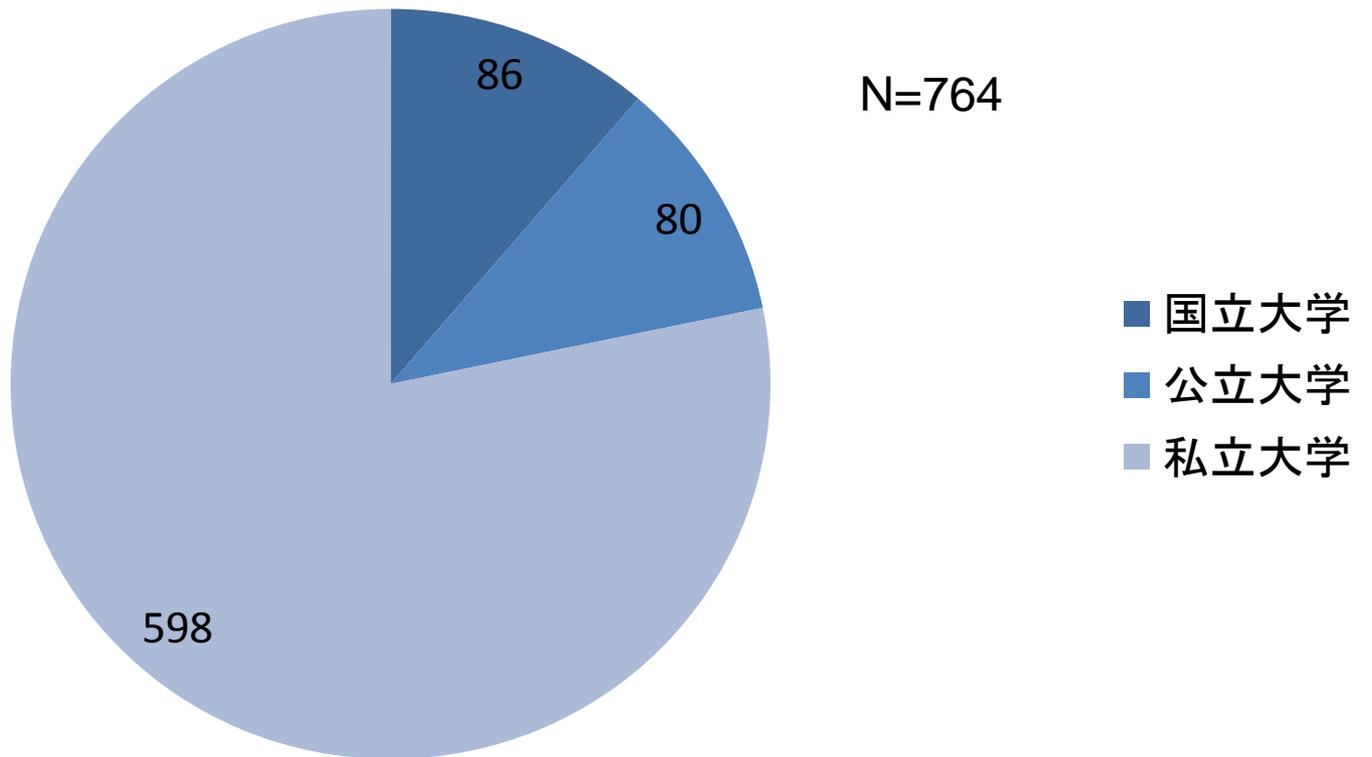
設置の根拠(3)

- 3 図書館には、その機能を十分に発揮させるために**必要な専門的職員その他の専任の職員を置くものとする。**
- 4 図書館には、大学の教育研究を促進できるような**適当な規模の閲覧室、レファレンス・ルーム、整理室、書庫等を備えるものとする。**
- 5 前項の閲覧室には、学生の学習及び教員の教育研究のために**十分な数の座席を備えるものとする。**

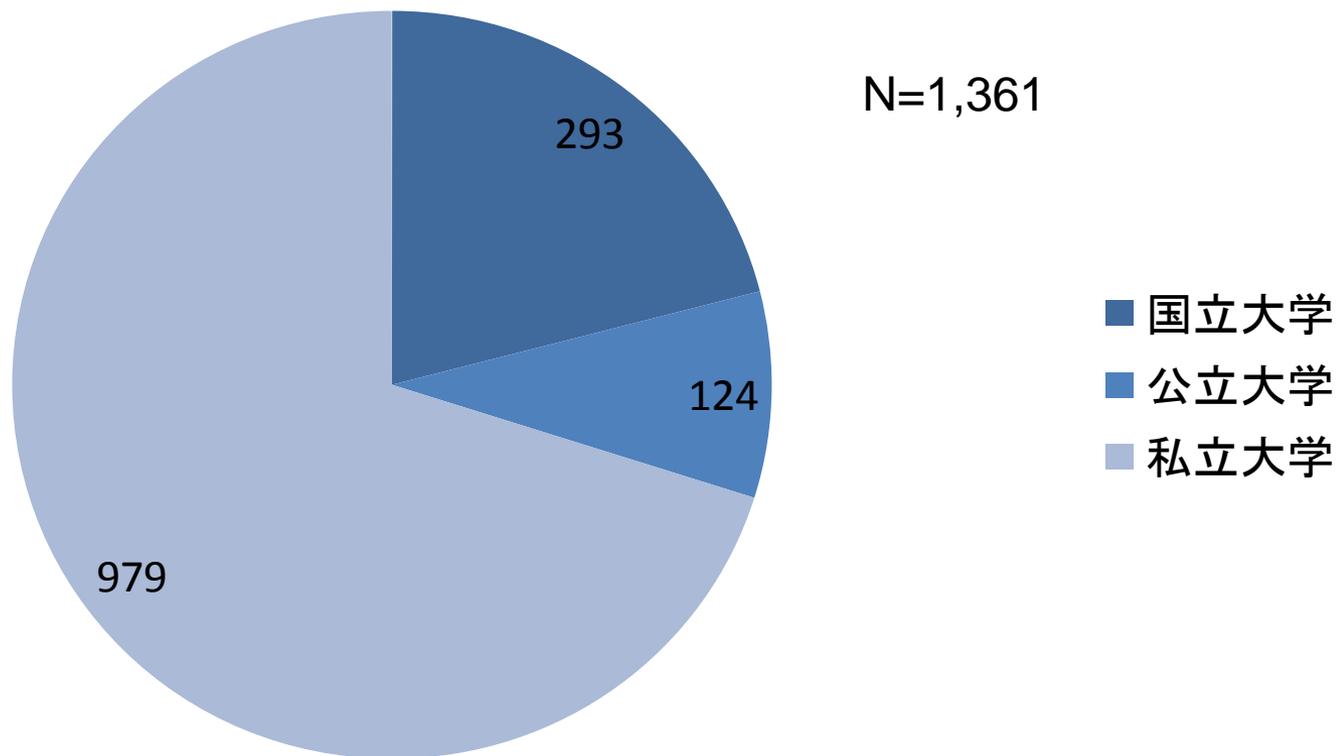


統計から見る日本の大学図書館 (2010年度)

1) 大学数

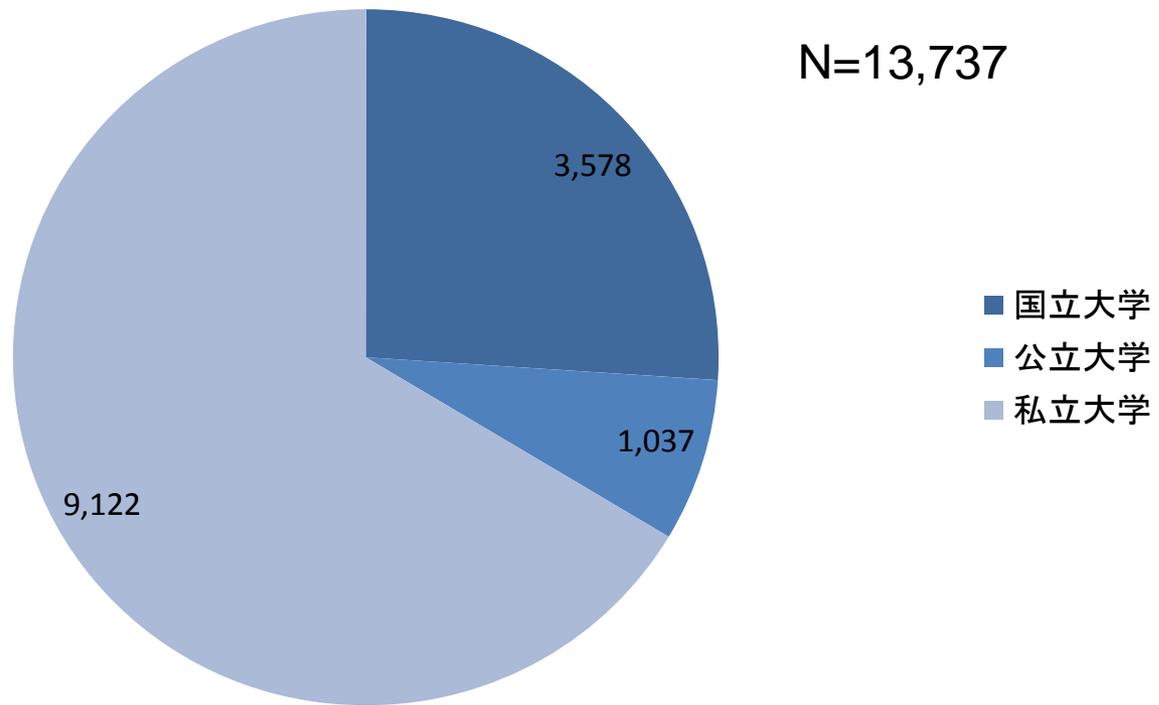


2) 大学図書館数



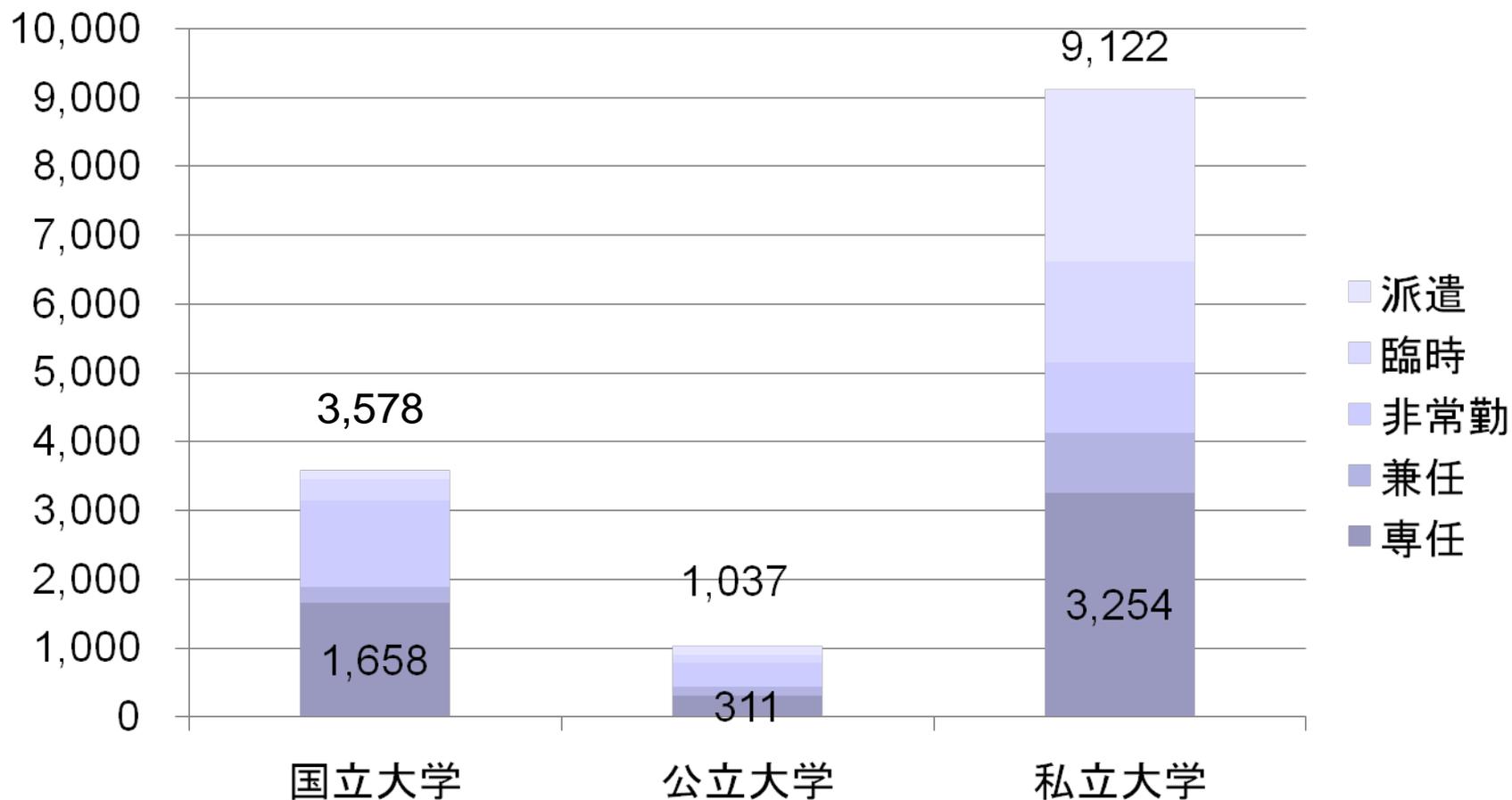
出典: 大学図書館集計(2010年)

3-a) 職員数



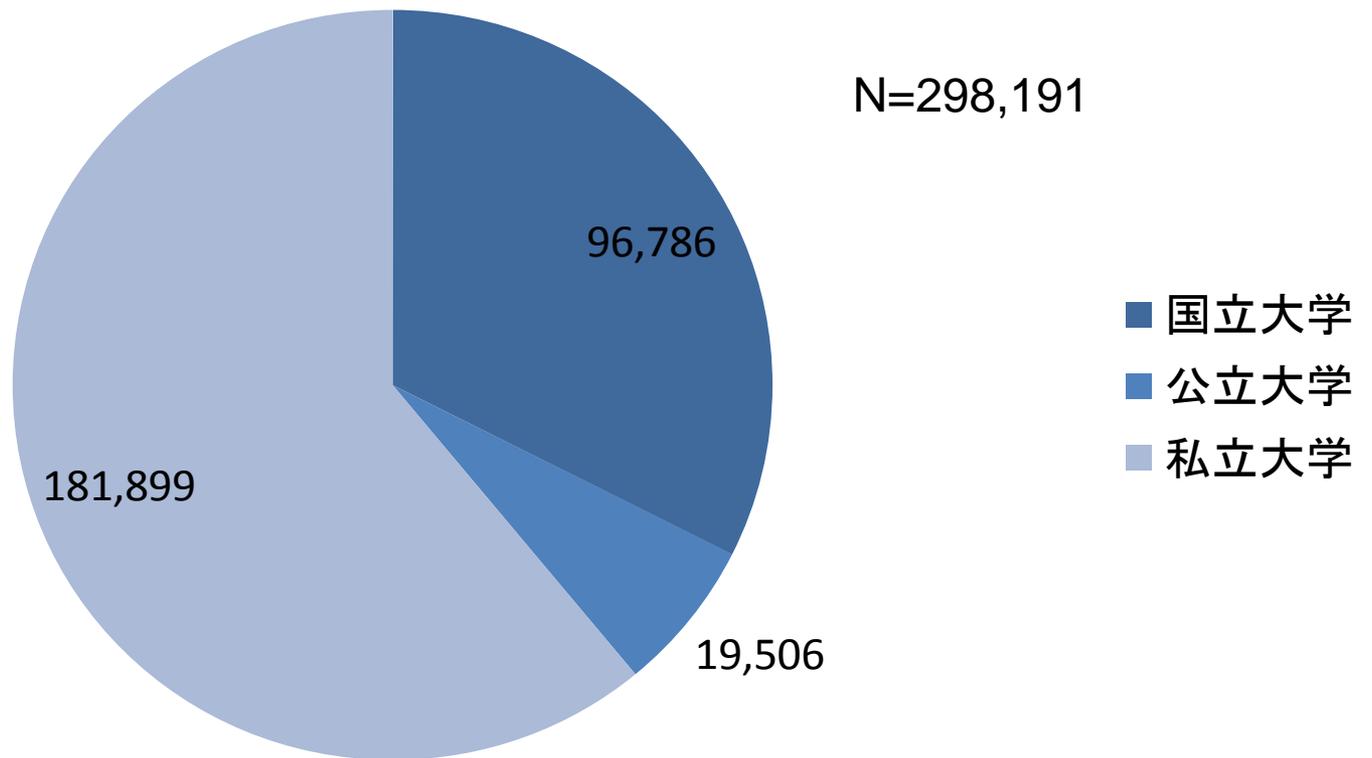
出典: 大学図書館集計(2010年)

3-b) 職員数:内訳



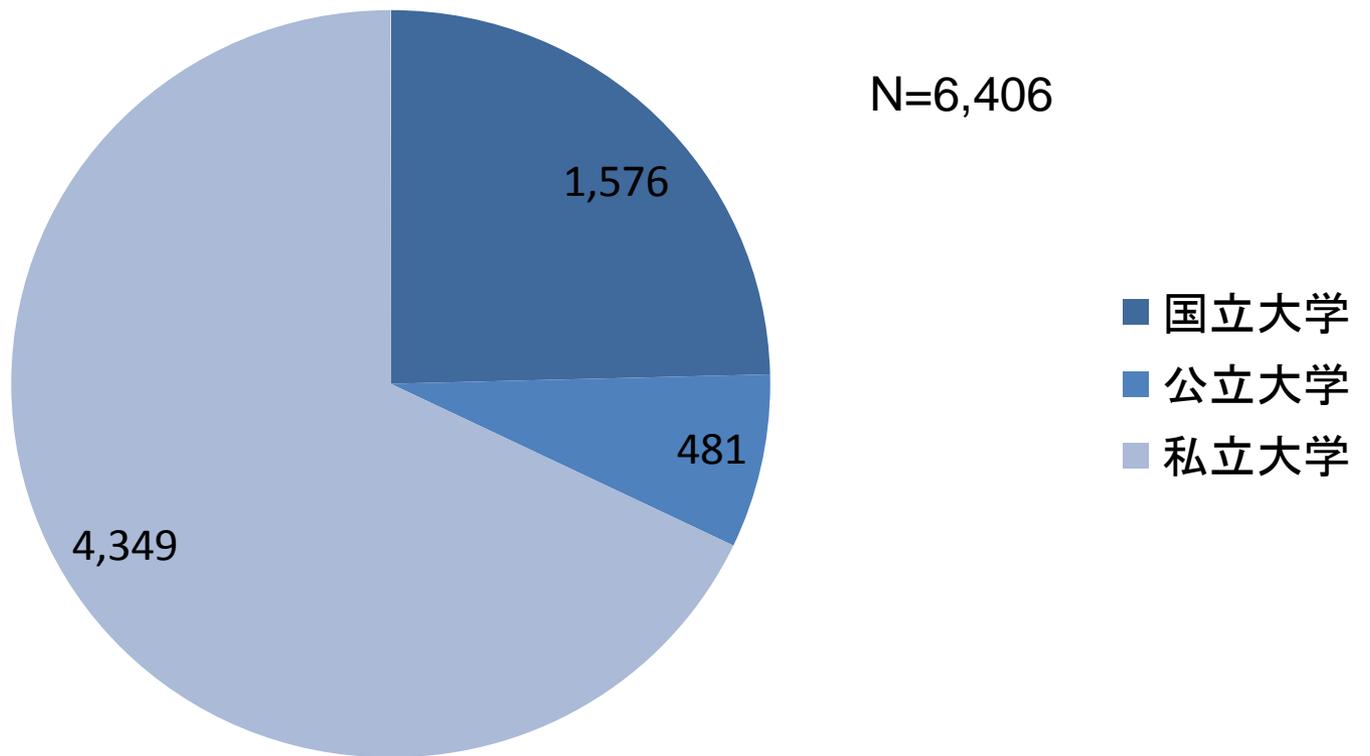
出典:大学図書館集計(2010年)

4) 蔵書冊数(千冊)



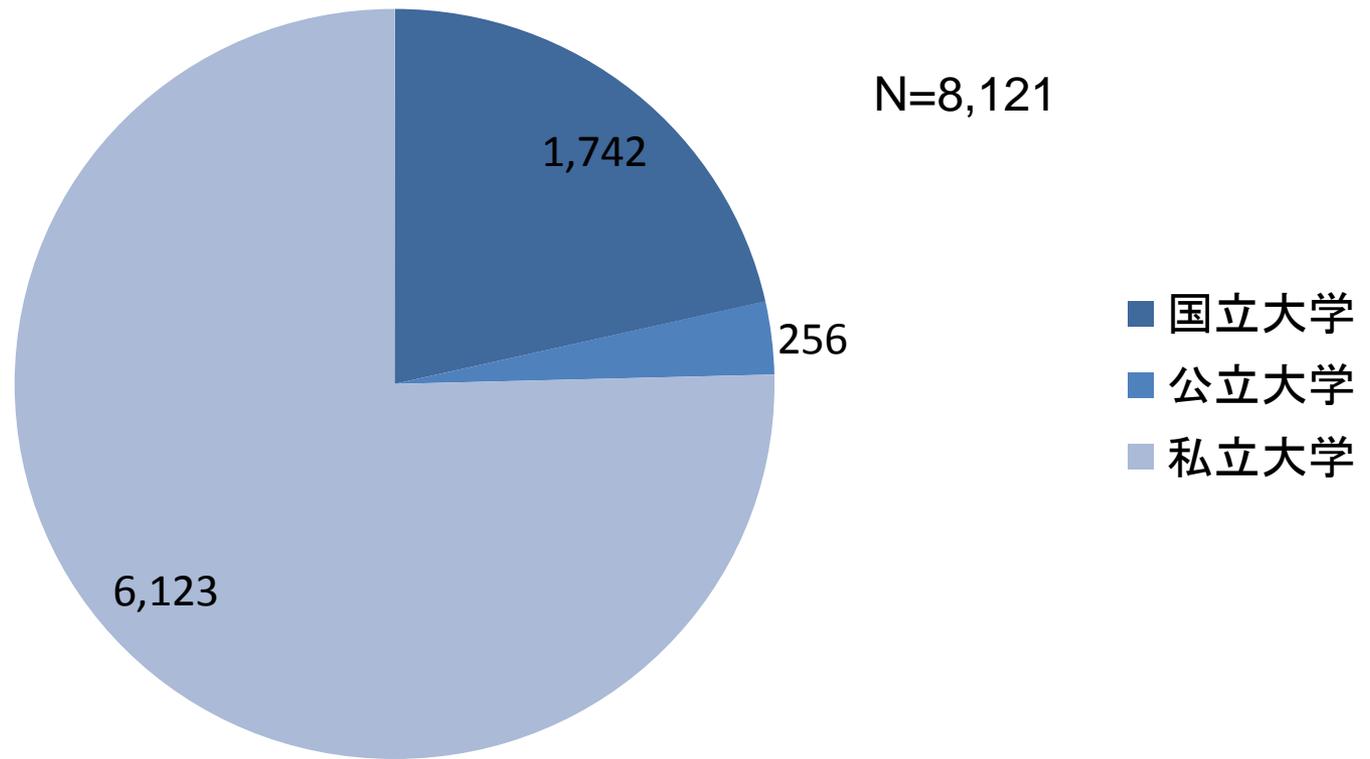
出典: 大学図書館集計(2010年)

5)年間受入冊数(千冊)



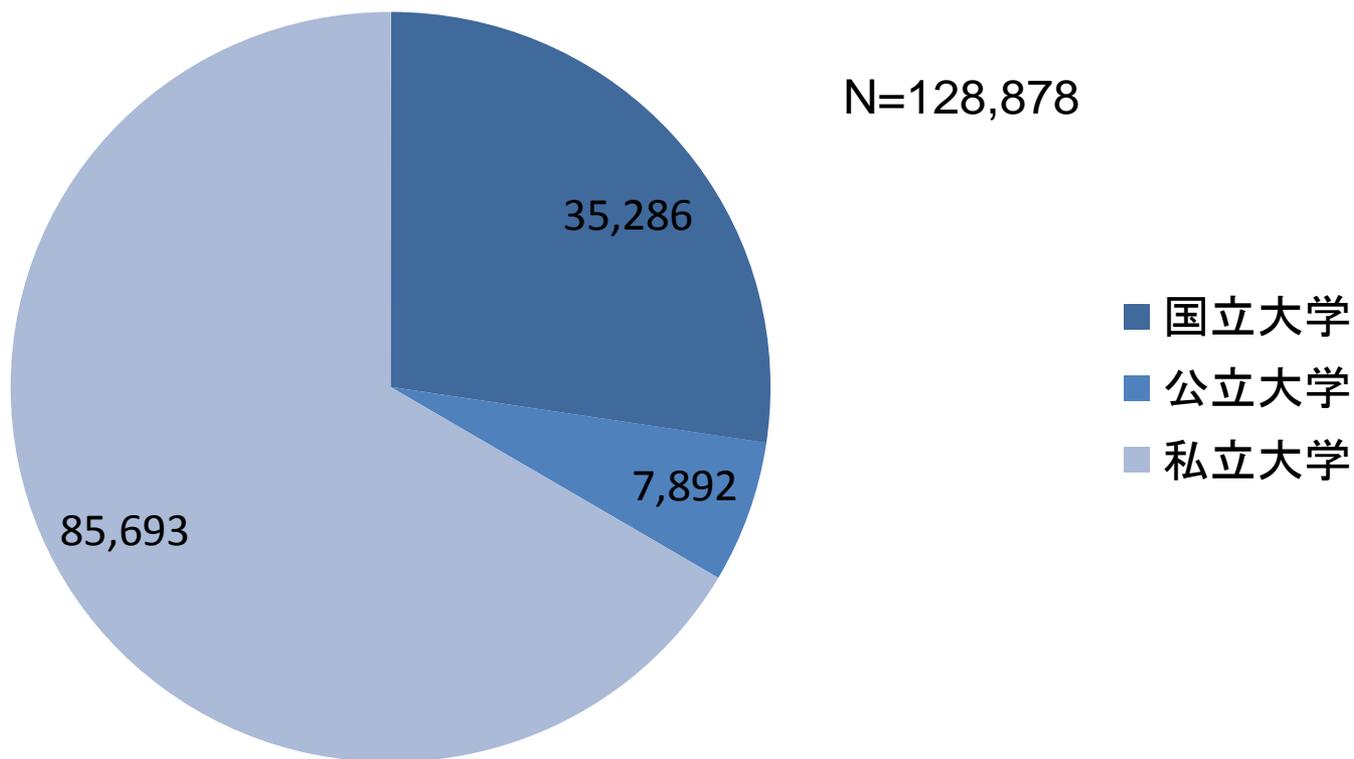
出典:大学図書館集計(2010年)

6) サービス対象者数(千人)



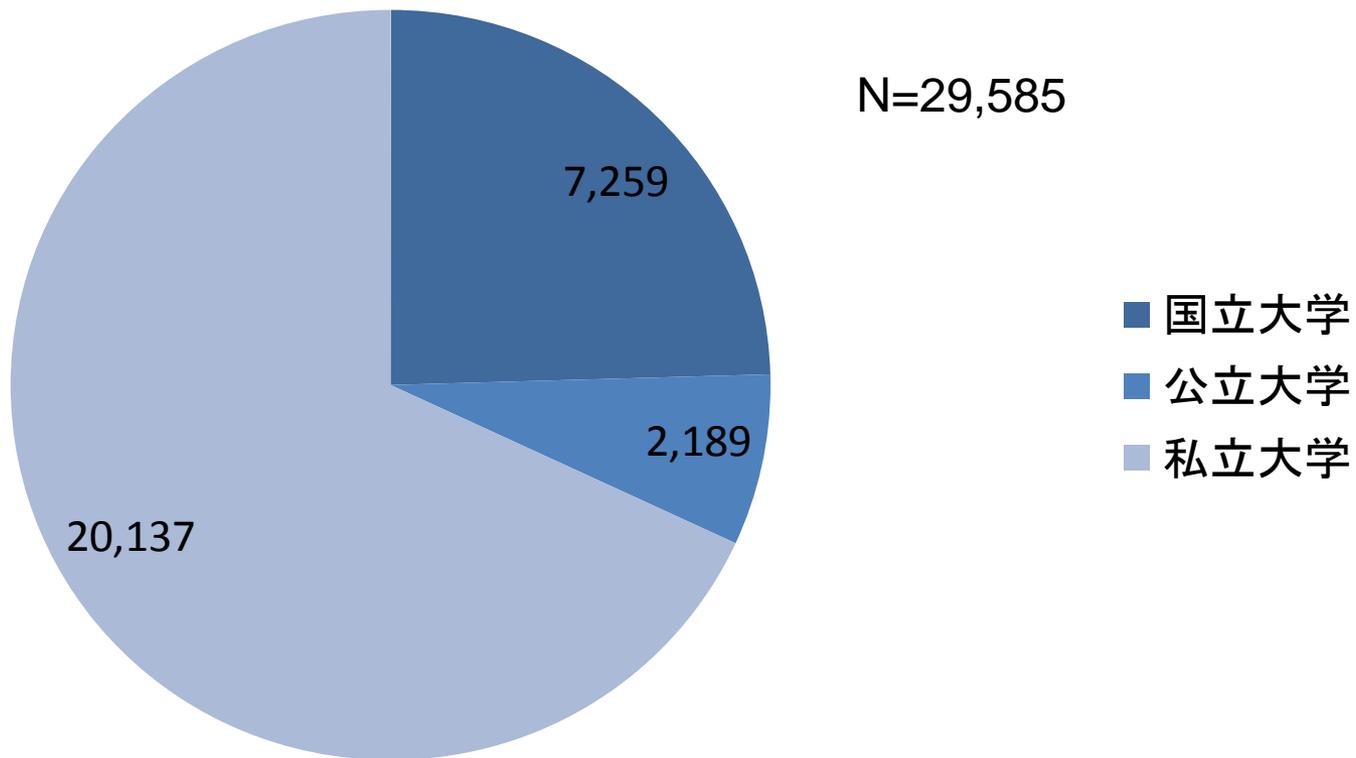
出典: 大学図書館集計(2010年)

7) 入館者数(千人)



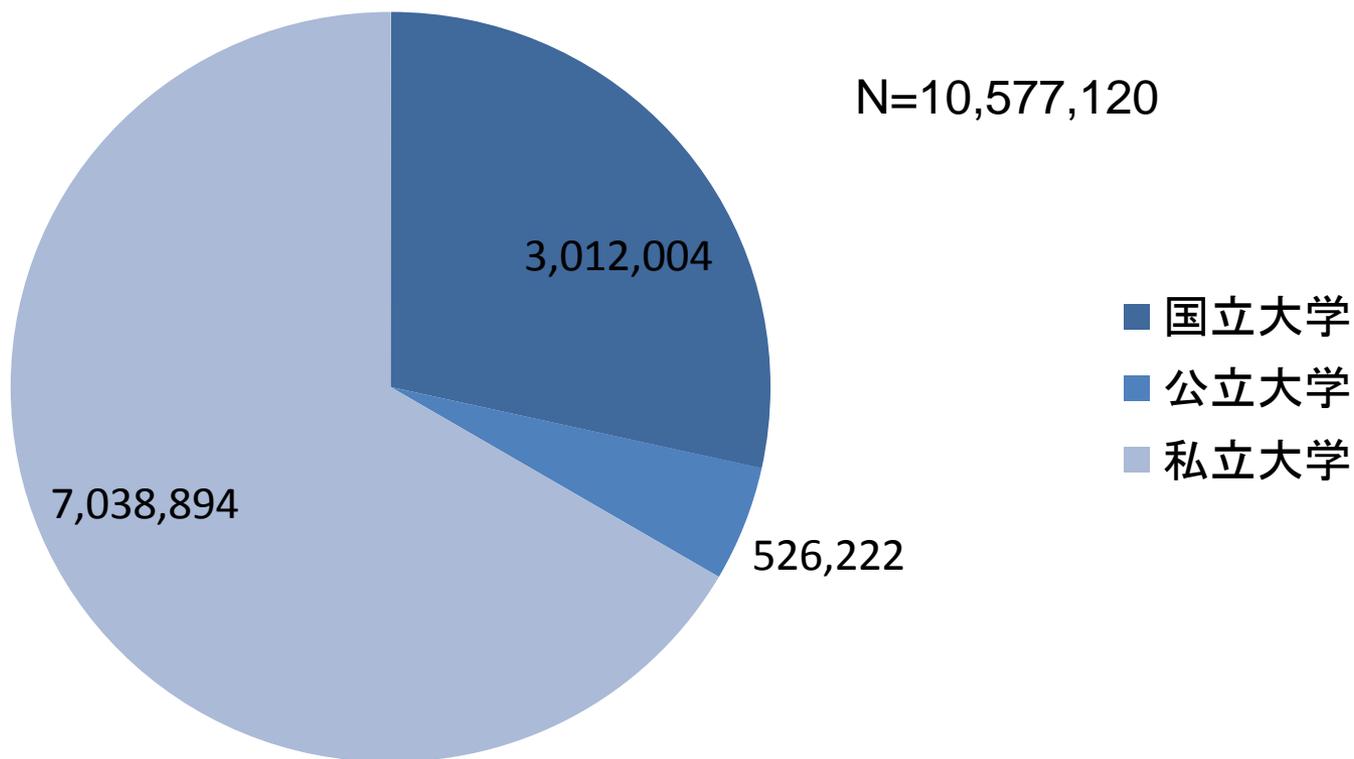
出典:大学図書館集計(2010年)

8)貸出数(千点)



出典:大学図書館集計(2010年)

9) 決算額(万円)



出典:大学図書館集計(2010年)

大学を巡る環境の変化

○大学設置基準の大綱化(1991年)

- 「事前審査」から「事後評価」へ
- 自己点検・自己評価

○国立大学法人化(2004年)

- 中期目標・中期計画(6年間)の策定
- 「運営」から「経営」へ
- 運営費交付金の1%減
- 外部評価(認証評価)

図書館を取り巻く環境の変化

○情報の多様化

- インターネット上の多様な電子情報に対する大学構成員のアクセスが容易
- 大学図書館で提供する電子情報が急増
- 情報量とともに収録データの複雑化が進展

○学習活動の変化

- 学習活動においてコンピュータが必需品
- 講義中心の授業からグループワークやプレゼンテーションを課す授業が増加

大学図書館の新しい動き(1)

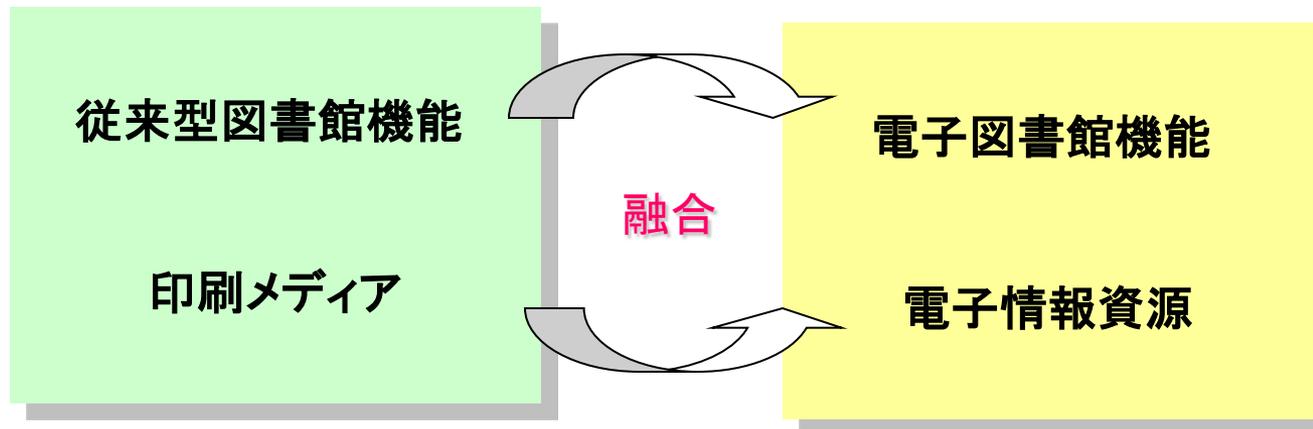
○ハイブリッドライブラリー

- 電子情報と印刷体資料のそれぞれの特性を活かしたシームレスな利用の実現

○情報関連組織と図書館の事務組織の統合・分離

- 図書館＋情報処理課＋コンピュータセンター
＝ 学術情報部

ハイブリッドライブラリー概念図



大学図書館の新しい動き(2)

○非来館型サービスの展開

- 電子情報サービス(図書館ウェブ[ポータル], OPAC, 電子ジャーナル, データベース, デジタル化資料)

○情報リテラシー教育支援

- 情報探索能力を持った利用者の育成を支援
- 授業への参画
- ガイダンス, オリエンテーション, ライティング

大学図書館の新しい動き(3)

○MyLibrary

- 「レディーメイド」から「オーダーメイド」のサービスへ
- Personalization

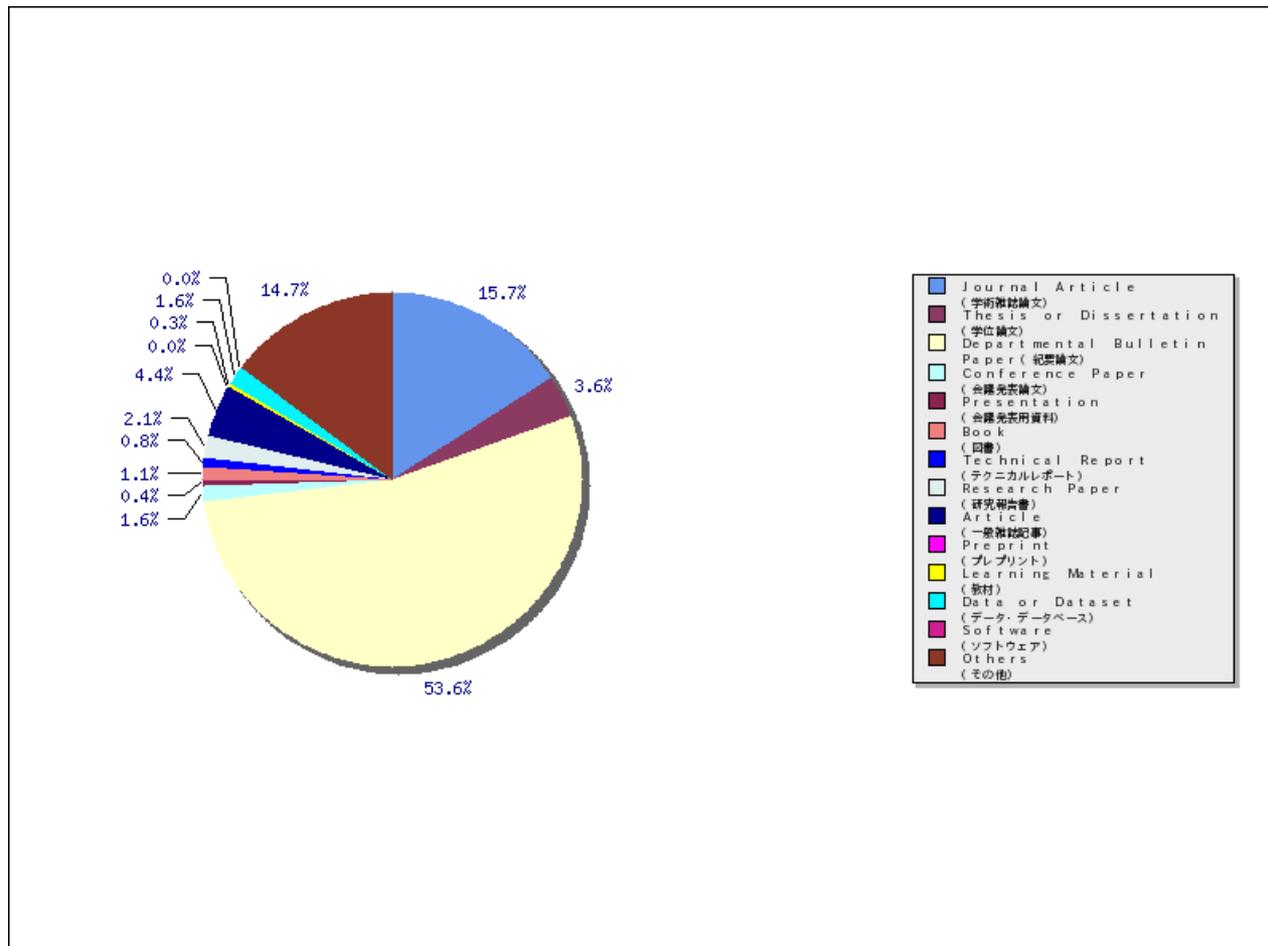
○学術機関リポジトリ

- 大学の教育・研究成果の保存と発信
- 学内刊行物のみならず，学外刊行物も対象
- オープン・アクセス
- 著作権，バージョンの問題(著者最終稿)

日本の学術機関リポジトリの数

設置主体	学術機関リポジトリ数
国立大学	76
公立大学	12
私立大学	41
国立高専	1
大学共同利用機関	2
研究所	6
地域共同	7
合計	145

学術機関リポジトリのコンテンツ

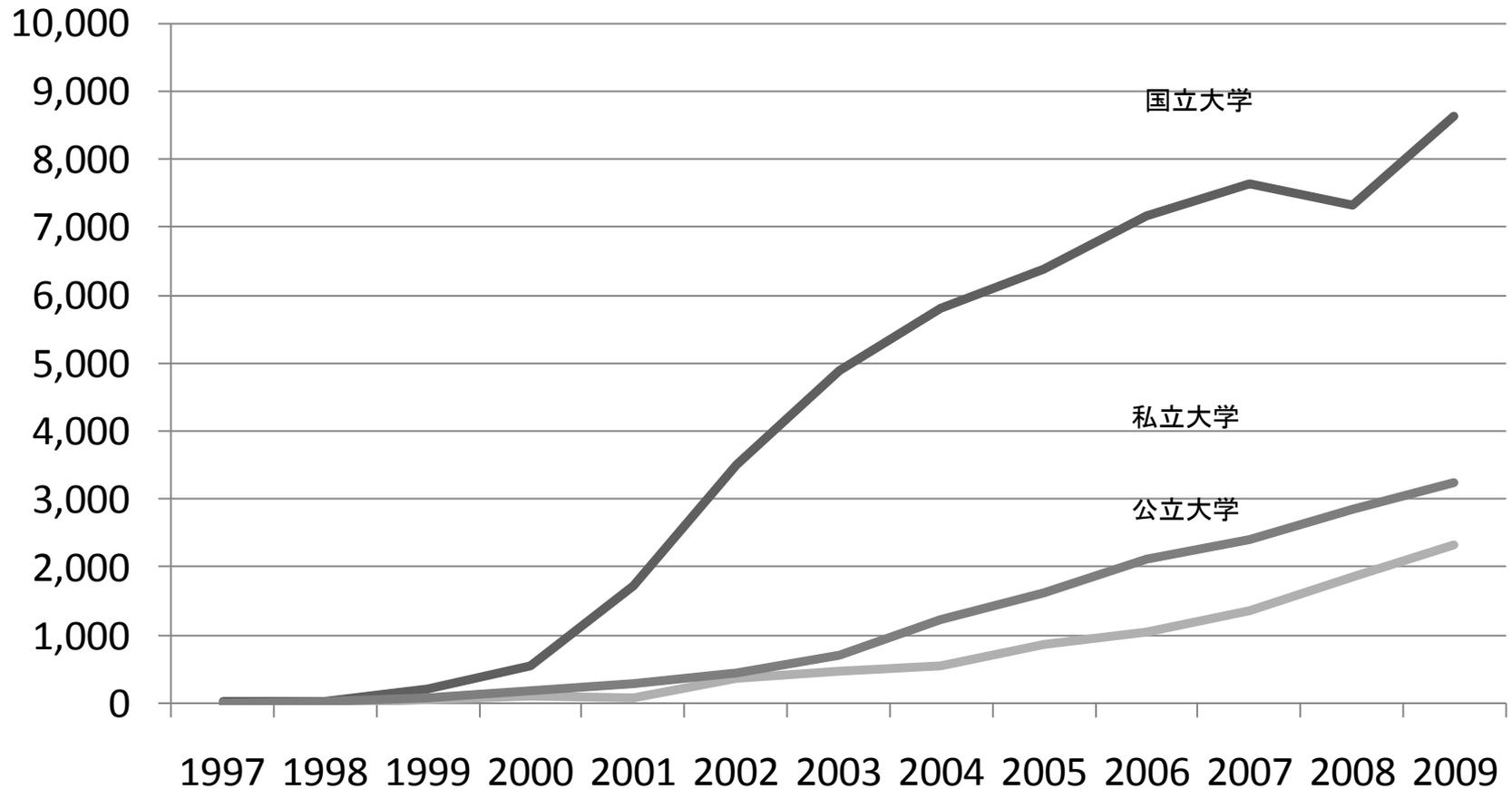


大学図書館の新しい動き(4)

○外国学術雑誌

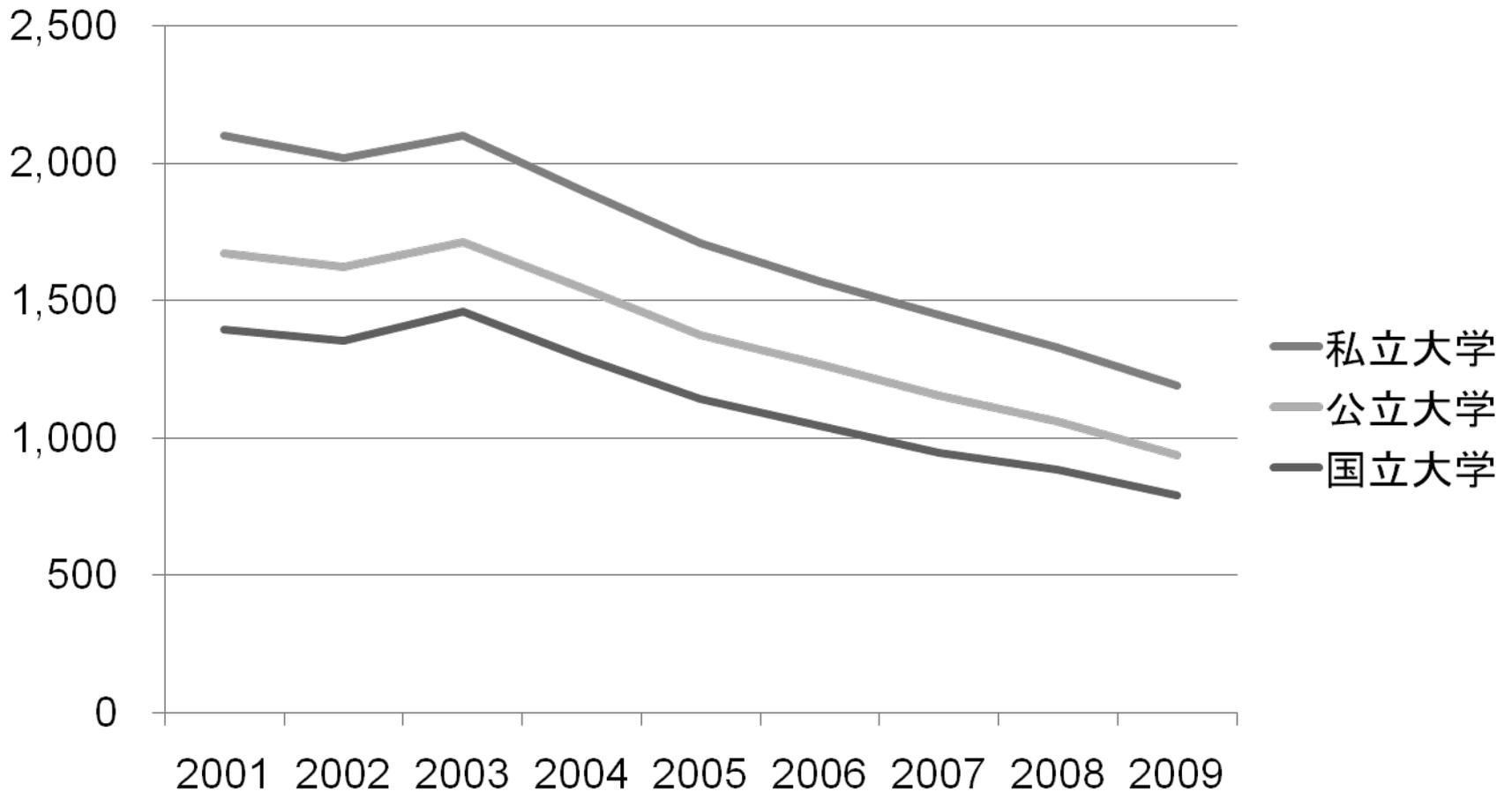
- シリアルズ・クライシス(1990年代)
- コンソーシアムによる電子ジャーナルの導入
 - 2002年 国立大学(JANUL)
 - 2004年 公私立大学(PULC)
 - 2011年 図書館コンソーシアム連合
- 購入している冊子体雑誌の減少
- 電子ジャーナルによるILL(文献複写)の減少

電子ジャーナルの平均利用可能タイトル数の推移



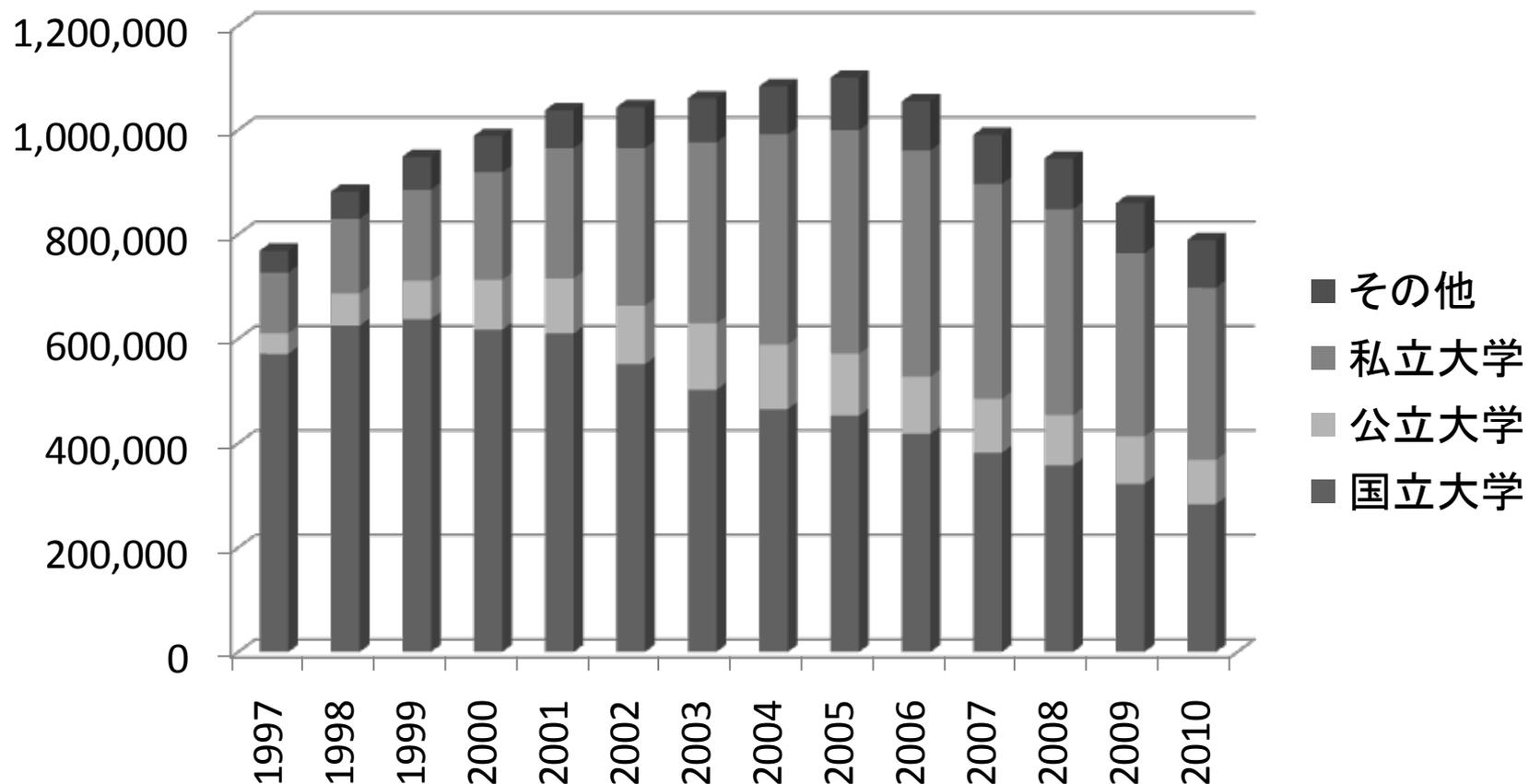
出典：大学図書館実態調査・学術情報基盤実態調査

購読している冊子体雑誌の減少



出典：大学図書館実態調査・学術情報基盤実態調査

電子ジャーナルによるILL(文献複写)依頼 件数の減少



出典: 国立情報学研究所ILL流動統計(館種別)

大学図書館の新しい動き(5)

○データベース

- 「イントラネット」から「インターネット」へ
- 「従量制」から「定額制」へ

○ラーニング・コモンズ

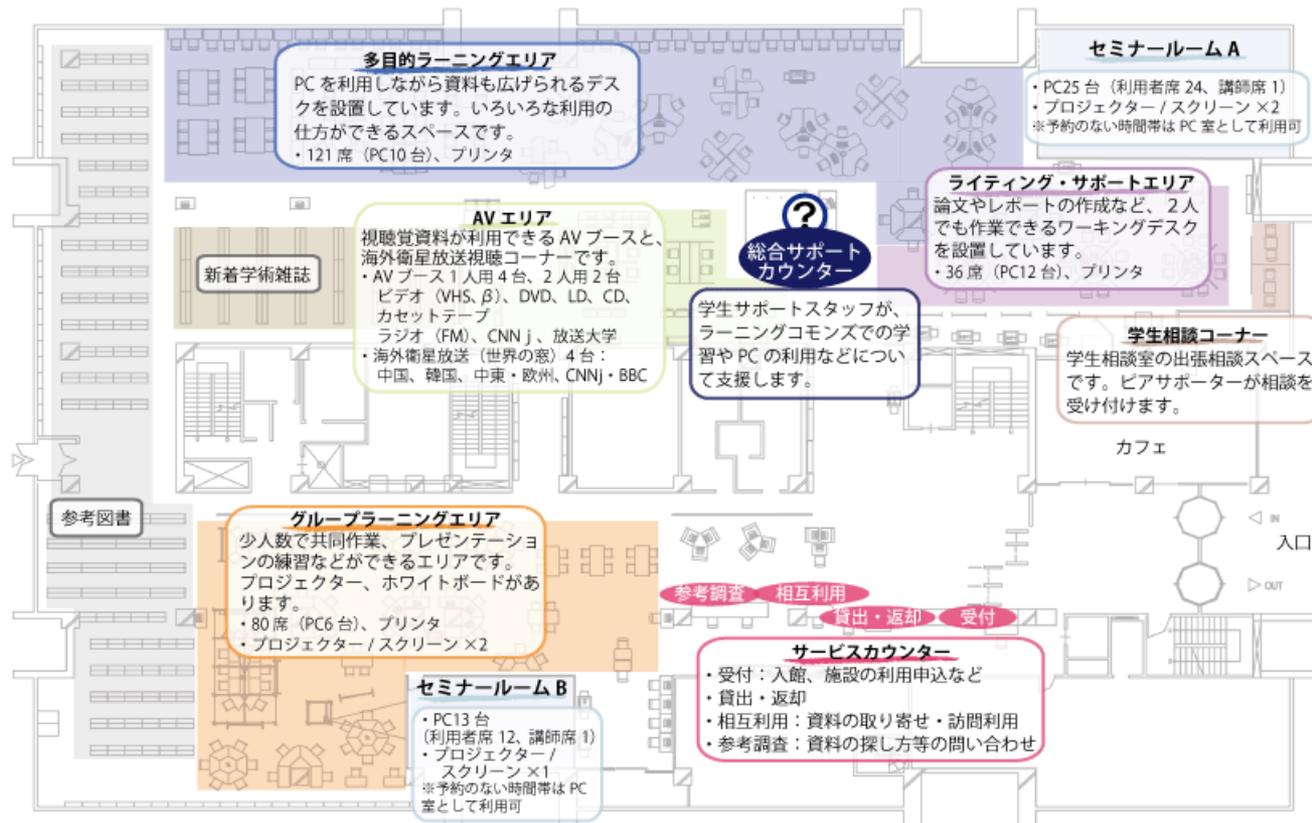
- 主として学生を対象とし、学習支援のためのサービス、資料、設備を総合的にワンストップで提供する学習支援空間

名古屋大学ラーニング・コモンズ(1)



多目的ラーニング・エリア

名古屋大学ラーニング・commons(2)



配置図

大学図書館の新しい動き(6)

○新しい情報検索システムの導入・構築

- リンクリゾルバ
- 横断検索
- ウェブスケール・ディスカバリー・ツール
- 次世代OPAC

グーグルのように一つの窓口から図書館が所蔵している図書, 雑誌, 電子情報がまとめて検索できる

名古屋大学電子ジャーナル・アクセスサービス

The screenshot shows a web browser window titled "Nagoya University electronic Journal DataBase - Windows Internet Explorer". The address bar contains the URL: http://sfx.nul.nagoya-u.ac.jp/nagoya/az/?param_sid_save=6655ab4c4436134a9649abc06f730012¶m_chinese_checkbox_type_save=¶m_lang_ser. The search bar contains the text "学術情報基盤実態調査".

The main content area of the website is titled "名古屋大学 電子ジャーナル・アクセスサービス" and "Nagoya University electronic Journal DataBase", provided by the Nagoya University Library. It includes a "公正利用の注意" (Notice of Fair Use) and a language dropdown menu set to "日本語".

Search options include "雑誌名から検索" (Search by journal name), "カテゴリ" (Category), "検索" (Search), and "CitationLinker". The search form has fields for "タイトル:" (Title), "ISSN", and "ベンダー" (Vendor). The "ベンダー" dropdown menu is open, showing options like "Agricultural History Society", "Agropedia", "AGU Digital Library", "AgZines", and "AIP Scitation". The "カテゴリ" dropdown menu is also open, showing options like "Agriculture Sciences", "Arts and Humanities", "Business, Economy and Management", "Chemistry", and "Earth Sciences". A "GO" button is visible next to the search fields.

Below the search form, there is a section for "以下の条件に対する検索結果:" (Search results for the following conditions). At the bottom, it says "Powered by SFX" and "NUL HOME 日本語 / English".

新しい大学図書館の課題

- 挑戦の時代

- 一層の効率化のみならず継続的イノベーションが必要
- 漸進的調整ではなく、広範囲な組織的変革の実施
- 環境の変化と利用者のニーズへの対応

- 将来の重点課題

- 従来のサービスの継続

デジタル図書館開発、情報リテラシーのスキルの訓練、オンライン図書館サービス、ラーニング・コモンズ／図書館スペースの変革、機関リポジトリ、研究データ管理、情報システム開発

- 新しいサービス

知識管理や仮想学習環境(VLE)への取組

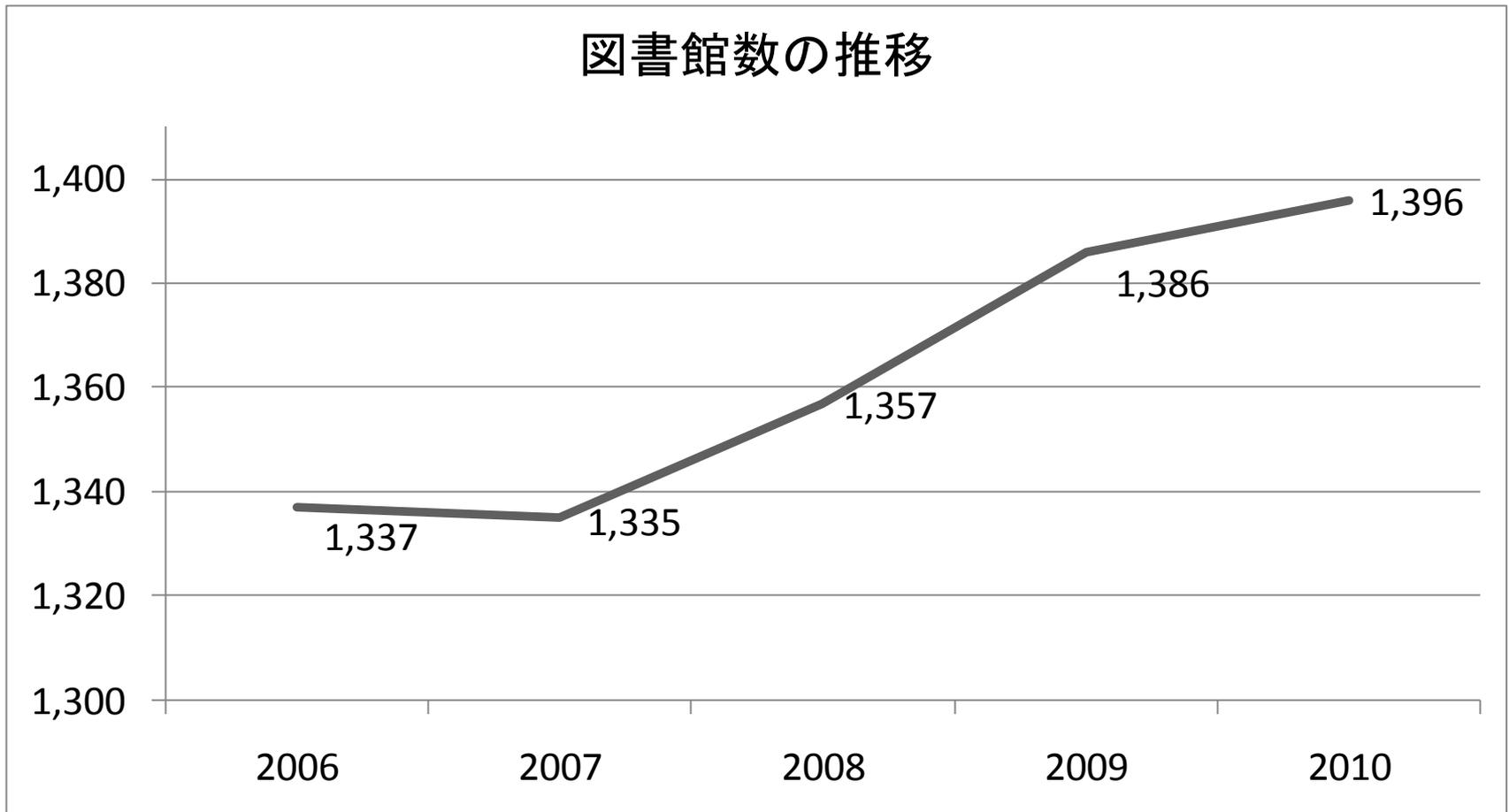
Envisioning future academic library services. Facet Publishing, 2010.



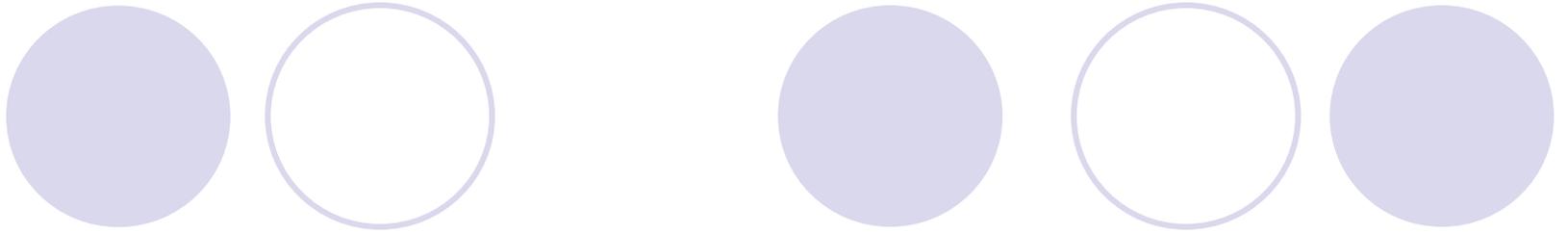
大学図書館の動向

- 学生数の増加
- 学生中心の学習の増大
- より長時間の開館
- 図書や雑誌の増加
- 図書館とコンピュータ・サービスの統合
- 研究への重点的取組み
- IT利用の増加
- 図書館における教室・セミナー室の提供
- 安全確保

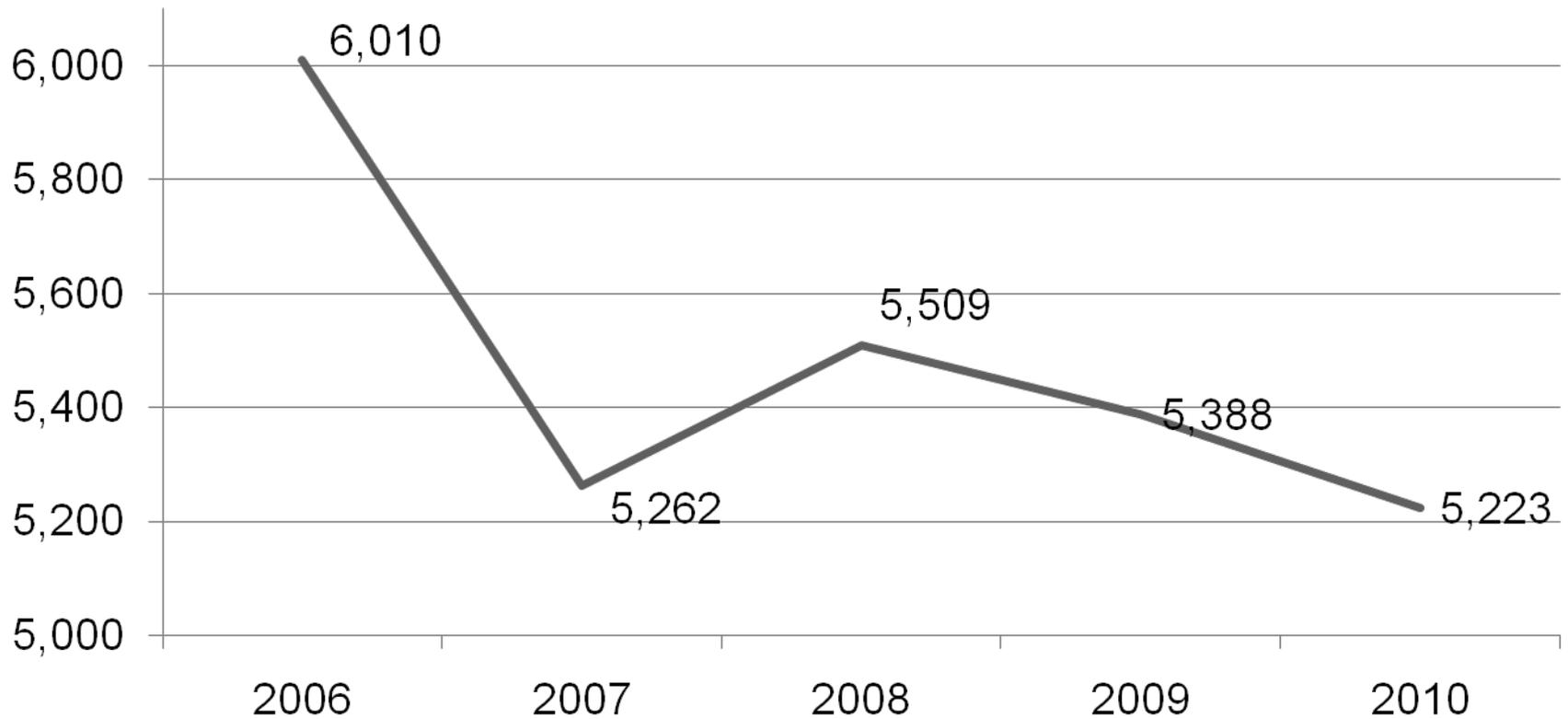
資料：大学図書館の推移：2006～2010



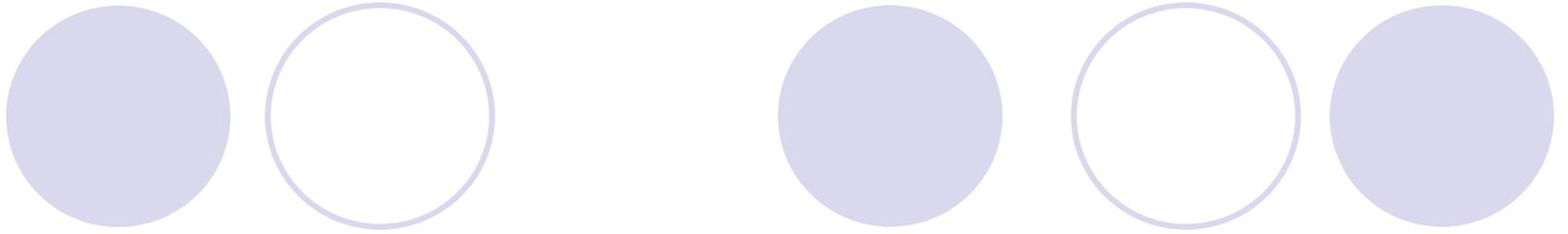
出典：日本の図書館統計：大学図書館



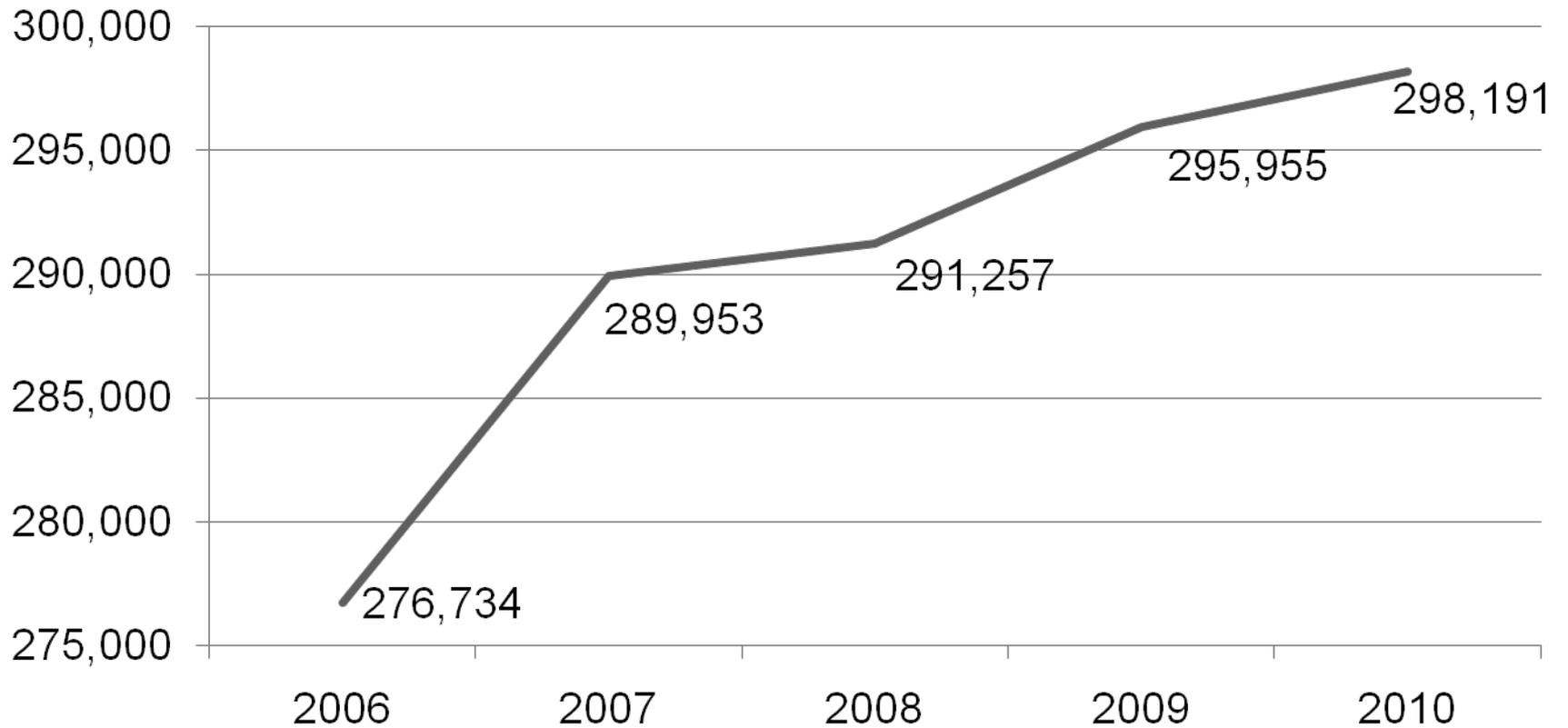
専任職員数の推移



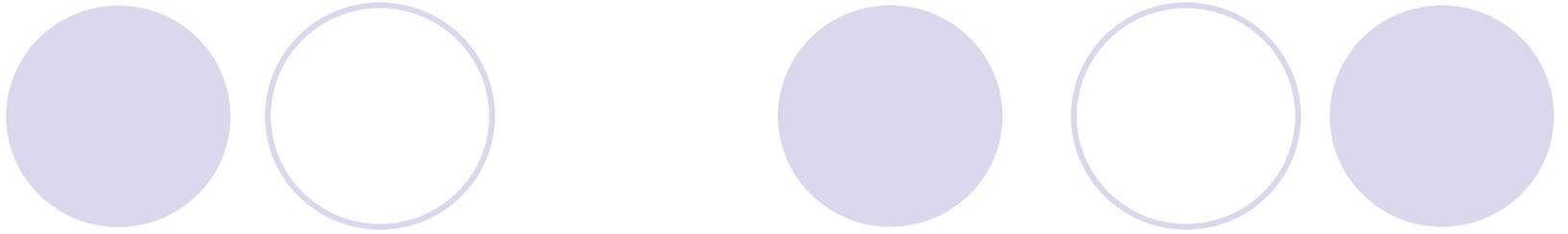
出典:日本の図書館統計:大学図書館



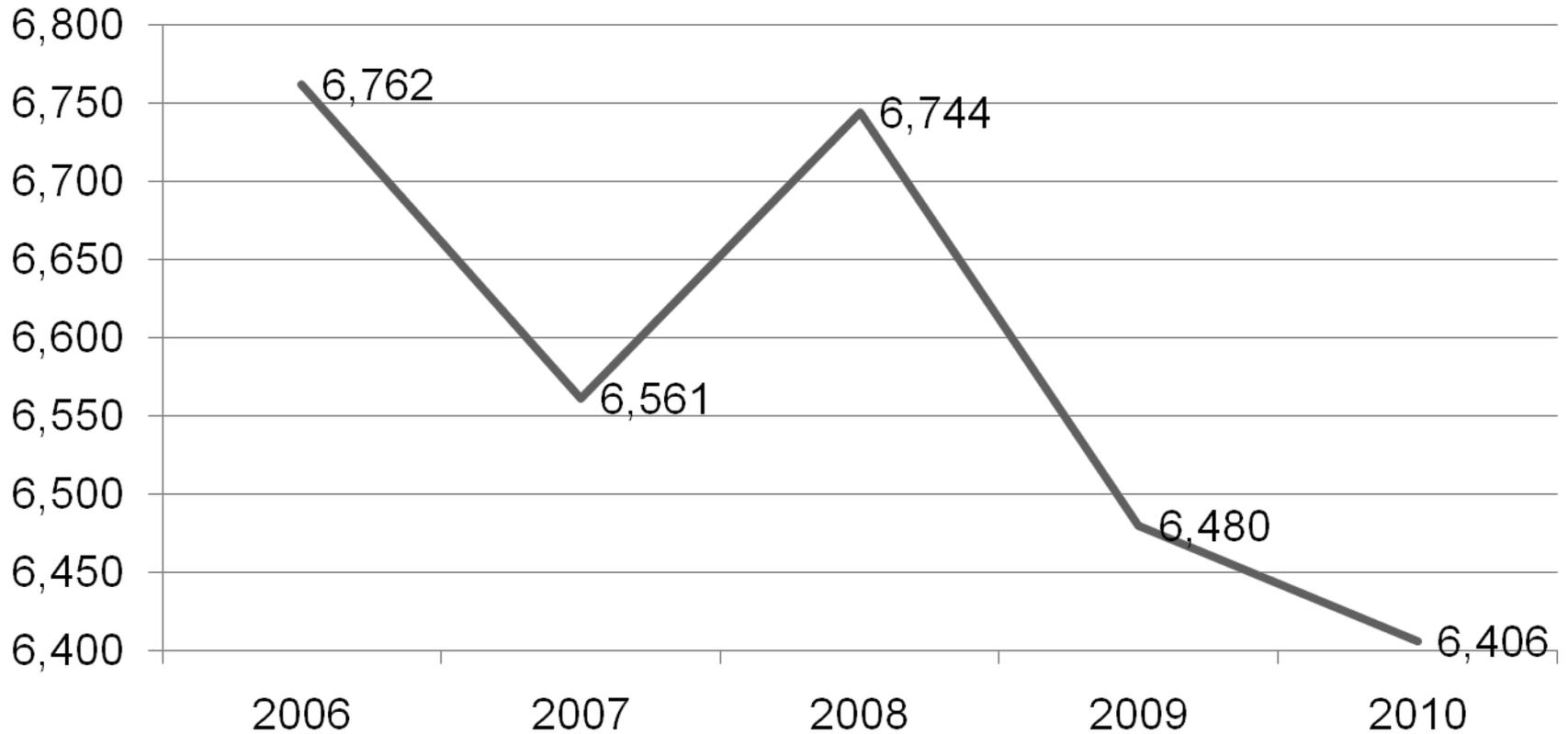
蔵書数の推移(千冊)

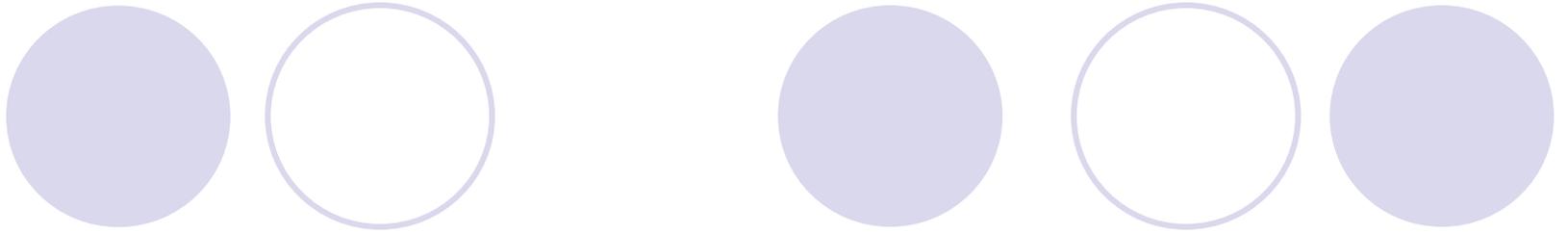


出典:日本の図書館統計:大学図書館

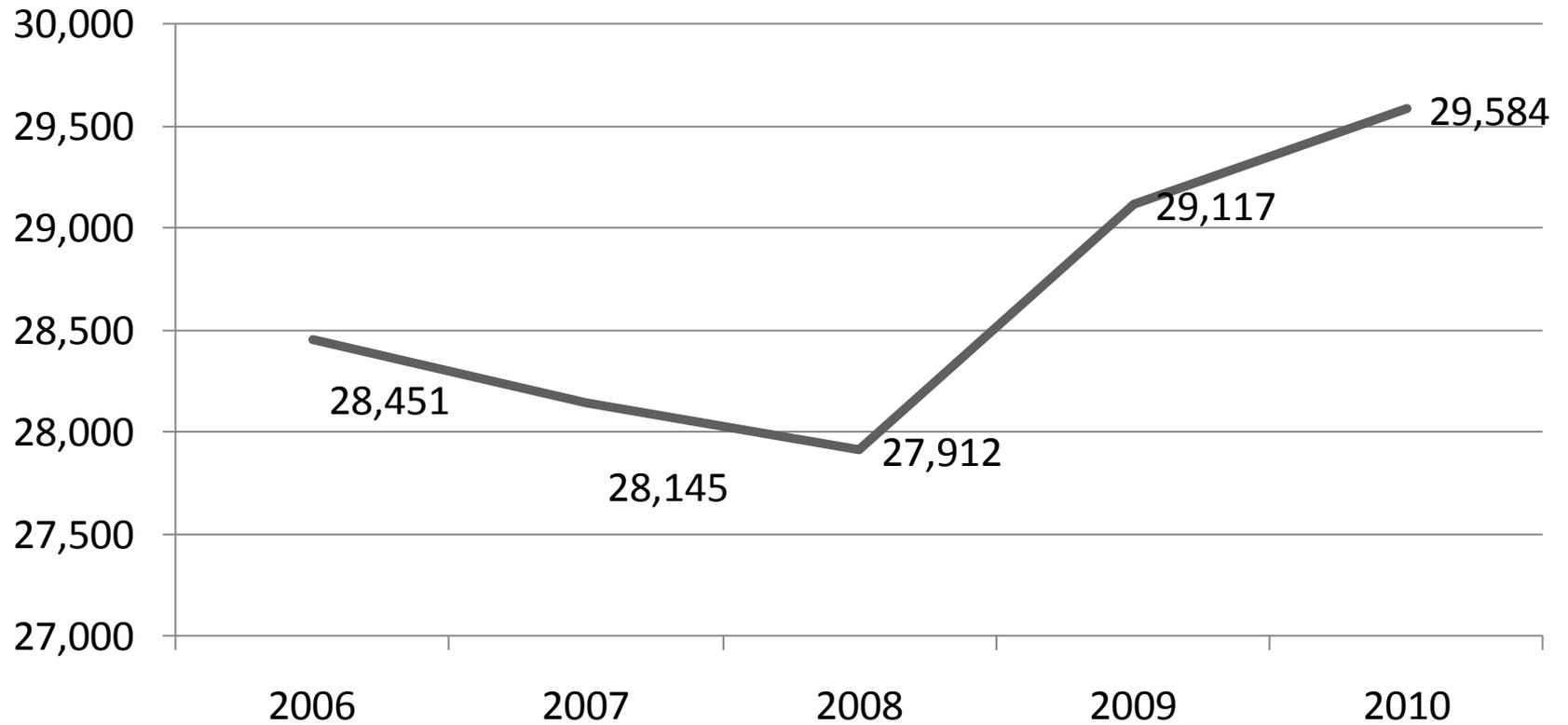


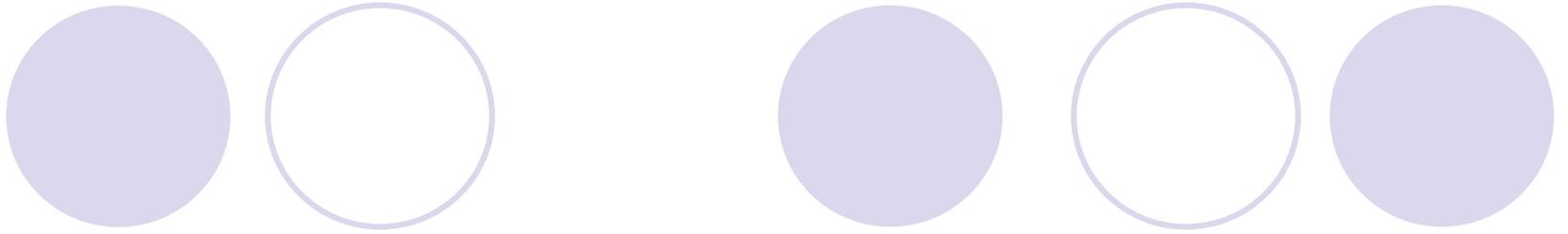
年間受入図書冊数の推移(千冊)



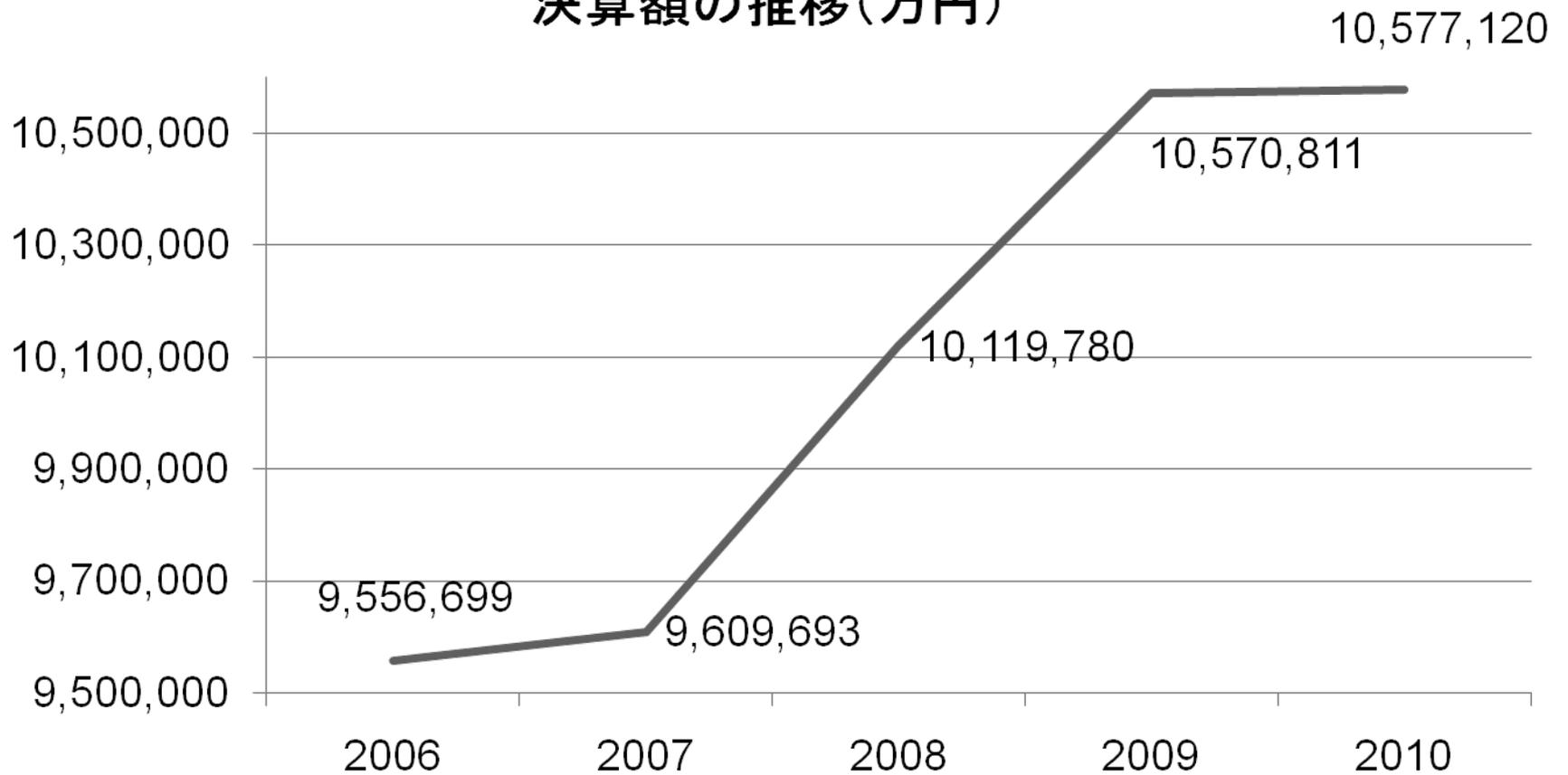


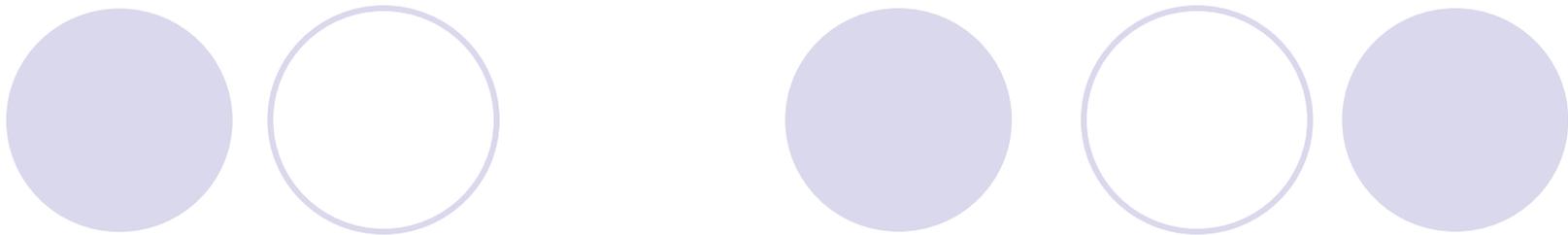
貸出冊数の推移(千冊)



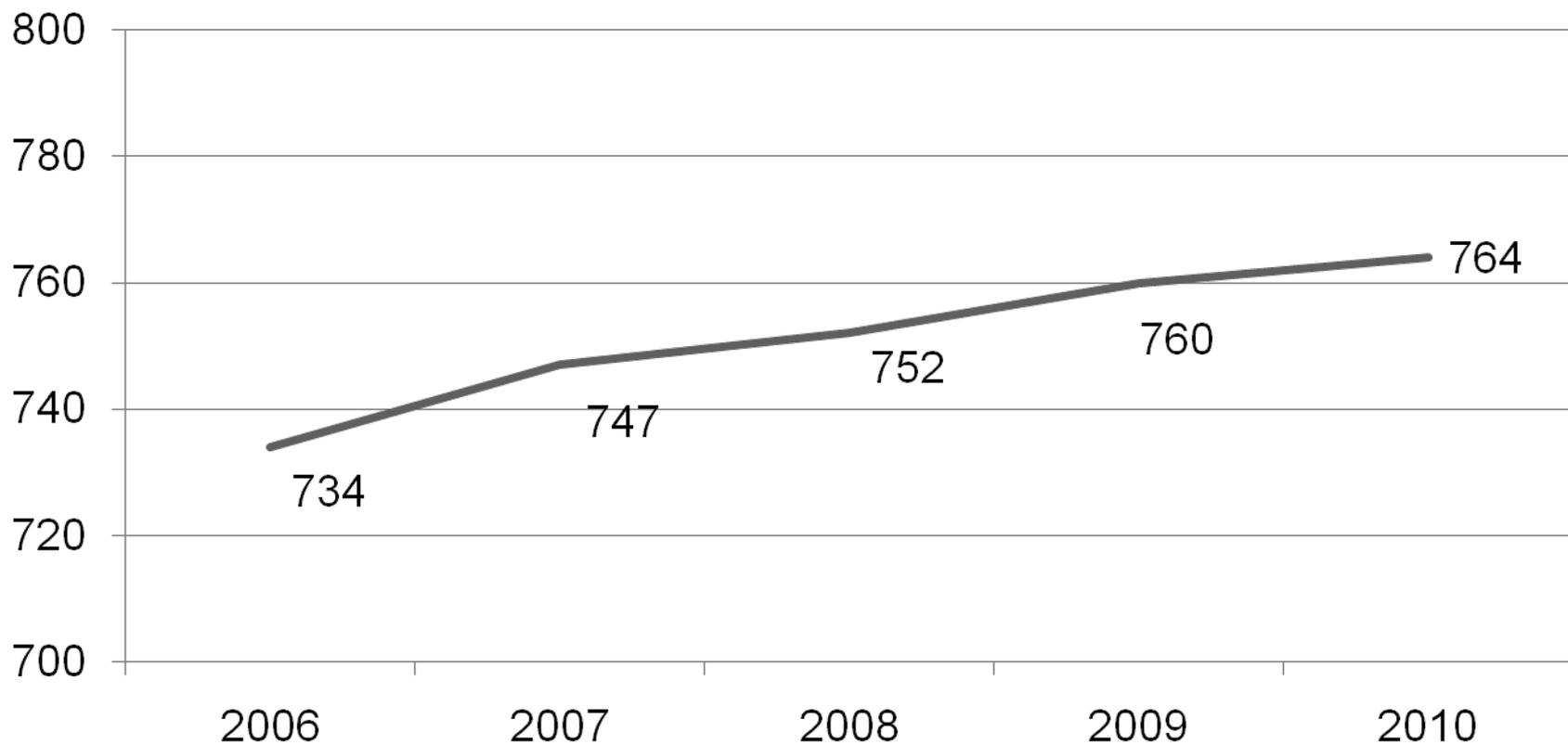


決算額の推移(万円)

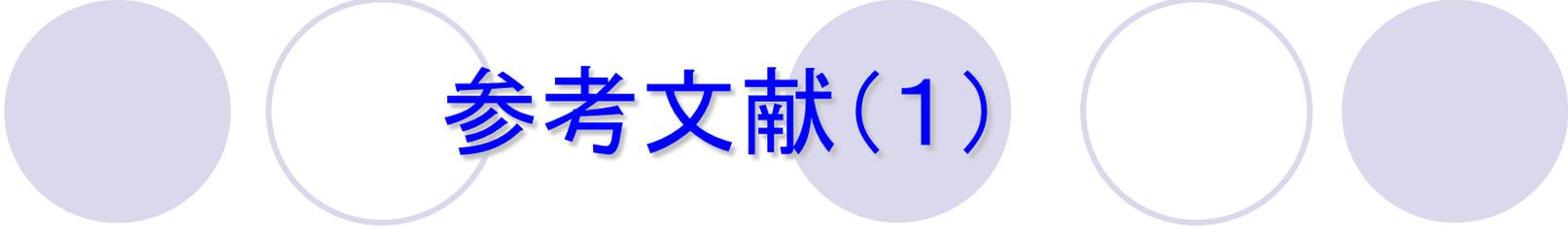




大学数の推移



出典:日本の図書館統計:大学図書館



参考文献(1)

○大学図書館の仕事制作委員会編

「知っておきたい大学図書館の仕事：現場
に即した業務ガイドブック」

エルアイユー 2006

○逸村裕, 竹内比呂也編

「変わりゆく大学図書館」

勁草書房 2005

参考文献(2)

- 科学技術・学術審議会 学術分科会 研究環境基盤部会 学術情報基盤作業部会
大学図書館の整備について(審議のまとめ)
—変革する大学にあって求められる大学図書館像—
2010年12月
- 大学図書館研究 国公立大学図書館協力委員会大学図書館研究編集委員会 1972—